

環境経営活動レポート



本社工場



TOTAL METAL WORK YAMASHITA
since 1960

先進技術と熟練の職人が受け継いできた確かな技術の
融合が生み出すオンリーワンのものづくり。



新湊工場



2020年7月15日作成



株式会社 ヤマシタ

I. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

全世界では益々深刻化する地球温暖化への対応が求められており、二酸化炭素の排出や資源の有効利用は人類共通の重要課題であると考えています。株式会社ヤマシタは環境経営目標を構築し、社員が一丸となって環境保全に取り組めます。

金属加工品の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、社員が自主的・積極的に、環境経営目標の取り組みを進めてまいります。

＜環境保全への行動方針＞

1. 環境経営目標を定め、社員全員が環境負荷の削減に取り組めます。
 - ① 電力及びガソリン・軽油等の消費削減に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 紙類、金属端材、廃プラ、木くず等の廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進します。
 - ③ 節水活動により水使用量の削減に努めます。
 - ④ 化学物質(PRTR法対象物質)の使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努めます。
 - ⑥ ステンレスの素材を活かして、環境に配慮した製品開発を行います。
 - ⑦ 工場周辺の清掃活動に努め、地域住民と協調を図ります。これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境経営方針を社員全員に徹底し、環境に対する意識を高め、環境改善を継続的に取り組めます。

2020年 7月 6日
株式会社 ヤマシタ
代表取締役 福山 邦夫

Ⅱ 事業の概要

1. 事業所名および代表者

株式会社 ヤマシタ
代表取締役 福山 邦夫

2. 所在地

本社・本社工場	富山県富山市上八日町22番地の1
新湊工場	富山県射水市新堀21番地の3
新湊北工場	富山県射水市新堀21番地の6
名古屋営業所	名古屋市西区堀越3丁目19-17(太陽ビル2F)

3. 環境保全関係の責任者、連絡先

環境管理責任者	白川 稔
推進責任者	島倉 信一郎
連絡先	TEL 076-429-1433
	FAX 076-429-9219
	URL http://www.y-ft.co.jp/
	E-mail sirakaxa@y-ft.co.jp

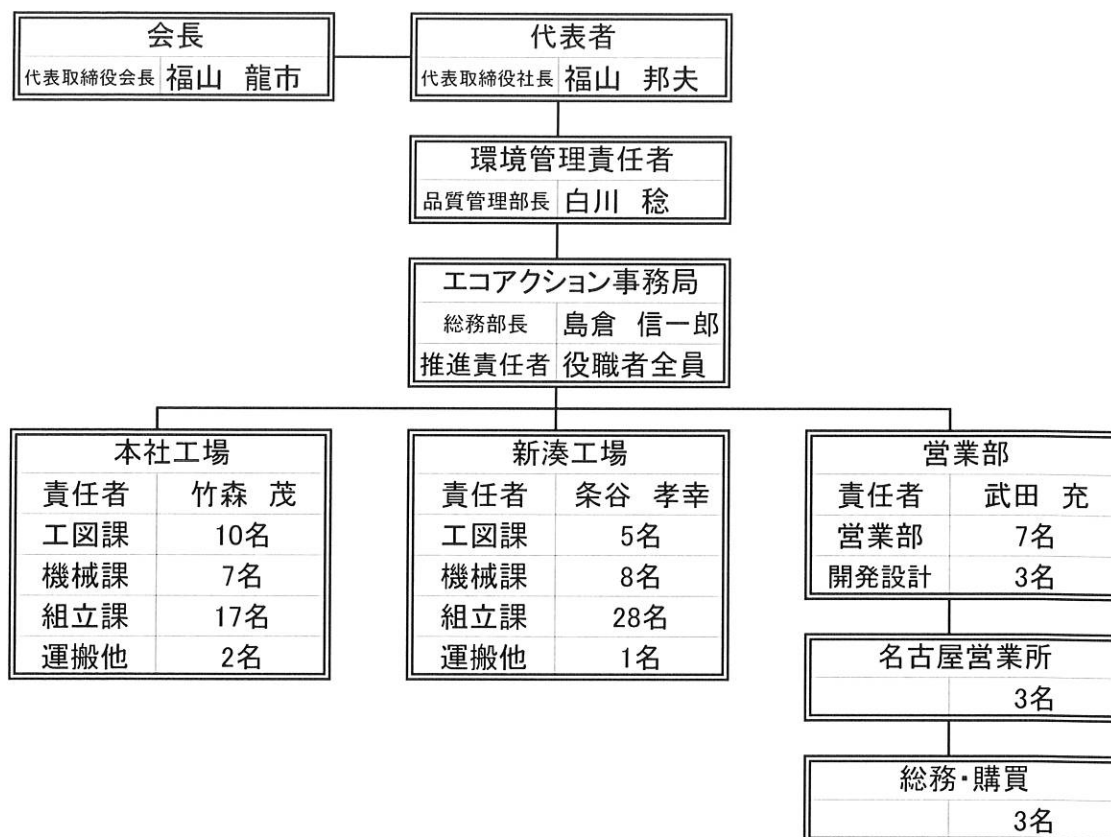
4. 事業内容の概要

ステンレスサッシ・ドア等金属建具の製造・販売
手摺、建築用装飾金物の製造・販売
各種モニュメントの製作・企画デザイン
機械装置、部品等の製造

5. 事業の規模

売上高	令和1年度実績	1,985百万円
従業員数	本社・本社工場	43名
	新湊工場、新湊北工場	52名
	名古屋営業所	3名
生産能力	本社・本社工場	月／80t
	新湊工場	月／80t
敷地面積	本社・本社工場	13,285m ²
	新湊工場	12,699m ²
	新湊北工場	15,639m ²
	婦中倉庫	5,049m ²
床面積	本社・本社工場	4,961m ²
	新湊工場	4,677m ²
	新湊北工場	3,368m ²
	婦中倉庫	860m ²

Ⅲ．実施体制（組織図）



役 割 と 責 任	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに必要な人材、資金、技術、設備等を用意 ・環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 ・環境経営目標、活動計画書及び環境経営活動レポートを承認 ・経営課題とチャンス の明確化
環境管理責任者	・環境経営の総責任者として、全体的な運営を管理 ・全体計画を立案し、推進責任者、事務局と共に計画を推進 ・環境経営活動の取組結果及び活動レポートを代表者へ報告
事務局	・システム運営上のデータ収集及び分析、文書作成、教育の実施等 ・環境経営活動の実績集計、活動レポートの作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成 ・環境管理責任者及び推進責任者と協議
推進責任者	・環境目標の進捗状況を管理し、取組内容の改善及び指示・指導 ・環境経営方針、行動指針の周知 ・各部門の問題点、課題の発見、是正処置の実施 ・各部門の取組状況の確認等を事務局へ報告
各工場および営業部門	・環境経営方針の理解及び環境への取組みを推進 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅳ. 環境経営目標

目標項目		2019年度目標	2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標
1. 二酸化炭素排出量の削減					
(1) 消費電力量の削減 (Kg-Co2(電力量)/生産量)	会社全体	1,398	1,384	1,370	1,356
	消費電力量	928,498	919,213	909,928	900,643
	生産量	664.11	664.11	664.11	664.11
	本社工場	786	778	770	762
	新湊工場	1,742	1,725	1,707	1,690
(2) 消費電力量の削減 (Kg-Co2(売上高)/電力量)	会社全体	1,599	1,615	1,632	1,648
	売上高	1,484,664	1,484,664	1,484,664	1,484,664
	消費電力量	928,498	919,213	909,928	900,643
	本社工場	2,844	2,874	2,904	2,929
	新湊工場	1,283	1,296	1,310	1,321
(3) 自動車燃料の削減	会社全体	38,276	37,894	37,511	37,128
① ガソリン消費量(L)	ガソリン(営業部)	21,783	21,565	21,347	21,129
② 軽油消費量(L)	軽油(製造部)	16,493	16,328	16,164	15,999
(4) 灯油等使用量の削減	会社全体	13,885	13,746	13,607	13,468
	本社工場	6,306	6,243	6,180	6,117
	新湊工場	7,474	7,399	7,324	7,249
	婦中倉庫	0	0	0	0
	名古屋営業所	106	105	104	103
2. 廃棄物の削減	廃棄物全体	153.09	151.56	150.03	148.50
(1) 紙類、段ボール(t)	会社全体	6.02	5.96	5.90	5.84
	本社工場	1.84	1.82	1.80	1.79
	新湊工場	4.18	4.14	4.09	4.05
(2) 金属材料の廃棄量(t)	会社全体	116.19	115.02	113.86	112.70
	本社工場	29.35	29.06	28.77	28.47
	新湊工場	86.83	85.96	85.10	84.23
(3) 廃棄プラスチック(t)	会社全体	19.89	19.69	19.49	19.29
	本社工場	5.48	5.43	5.37	5.32
	新湊工場	11.66	11.55	11.43	11.31
	新湊北工場	2.74	2.71	2.69	2.66
	婦中倉庫				
(4) 木くず(t)	会社全体	11.00	10.89	10.78	10.67
	本社工場	5.64	5.59	5.53	5.47
	新湊工場	5.36	5.30	5.25	5.20
3. 総排水量(m3)	会社全体	8,306	8,222	8,138	8,057
	本社工場	2,147	2,126	2,104	2,083
	新湊工場	5,281	5,228	5,175	5,122
	新湊北工場	378	374	371	367
	ヤマシタ寮	500	500	495	490
4. グリーン商品の購入	会社全体	70.22%	70.93%	71.66%	72.39%
5. 化学物質(PRTR法対象物質)の削減 PRTR法対象物質使用量/鉄の加工重量	会社全体	4.721	4.674	4.627	4.580
	本社工場	4.401	4.357	4.313	4.269
	新湊工場	5.653	5.596	5.540	5.483
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組目標					
(1) 金属材料の廃棄率の改善(率) 廃棄金属クズ/主要材料使用量	会社全体	15.09%	14.94%	14.79%	14.63%
	本社工場	16.04%	15.88%	15.72%	15.56%
	新湊工場	14.10%	13.96%	13.82%	13.67%
(2) コピー用紙使用量の削減(Kg)	会社全体	3,210	3,177	3,145	3,113
	本社工場	1,325	1,311	1,298	1,285
	新湊工場	1,885	1,866	1,847	1,828

V. 環境経営活動計画(2020年度の取組)

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 節電活動

- ① 消灯担当者を任命し、休憩時間の照明機器の消灯を徹底する。
- ② 明るい日の照明は、工場中央部以外は消灯する。
- ③ 不稼働機器の電源管理(待機電力量を減らす)
- ④ コピー機等の省エネモードにて使用する。

(2) 太陽光発電

- ① 新湊工場の屋根に、208.8kwh、本社工場の屋根に252.53kwhの発電能力のある太陽光パネルを設置し自然エネルギーの活用を推進している。
- ② 2019年度では会社全体で 536,282kWhの発電がありました。二酸化炭素排出量に換算すると、年間 307,826Kg-CO₂の削減効果がありました。

(3) 冷暖房の室温管理(A/C)

- ① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。
- ② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。

(4) 設備機器の検討

- ① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。
- ② 機械設備および機器の稼動時間を少なくする。
- ③ 省エネ設備の導入を検討する。

(5) 工程管理による残業時間の削減

- ① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、効率の良い生産体制を築く(無駄な時間外を無くす)。
- ② 作業停滞が生じないよう、工程時間の打合せを毎日行い、最優先作業を作業員に周知する。
- ③ 生産情報システムを活用し、工程管理による生産性の向上を目指す。

(6) 灯油使用量の削減

- ① 消費量を定め計画購入する(暖房用)。
- ② 燃焼調整をこまめに行う。

(7) 自動車燃料の削減

- ① 運行予定表の作成による計画走行を実施する(トラック便)。
- ② エコ運転の推進(アイドリング禁止等)。
- ③ 運転日報の制定及び走行距離の記録(営業車)。
- ④ 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。

2. 廃棄物の削減

(1) 紙類、段ボールの有効利用

- ① 出荷梱包に、不要な段ボール及び木枠パレットを再利用する。
- ② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。

(2) 端材(残材)の有効利用

- ① 端材等のスクラップ材の完全分別化(完全リサイクル)を実施している。
- ② 端材を利用した商品開発を促進する。

(3) 廃棄プラスチックの削減

- ① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。
- ② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。

(4) 木くずの削減

- ① パレットの木くずを再利用する人に引き取ってもらう。
- ② 材料業社に引取り交渉をする。

3. 排水量の削減

(1) 節水運動の推進

- ① 節水を周知するためポスターを作成する。(蛇口設置箇所)
- ② 清掃時の節水(作業場モップ清掃時等)に努める。

(2) 融雪放水の管理

- ① 20Cm以上の積雪又は天気予報等で20Cm以上の積雪が予想される場合に放水する。
- ② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。

4. 化学物質 (PRTR法対象物質) の削減

- ① 化学物質取扱者に対する教育を行う。
- ② 化学物質の保管・管理を指導する。(安全パトロール)

5. グリーン商品の購入

- ① 事務用品において、グリーン商品の購入に努める。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

(1) 金属材料の廃棄率の改善(材料のムダを無くす)

- ① 集約加工の推進(ネスティング歩留りの向上)。
- ② 在庫管理の確立(適正サイズにて加工)。
- ③ 不良品の削減(再発防止策の構築)。
- ④ 残材使用を含む材料の適正選択を指示する。

(2) 製品の再作成の削減

- ① 図面の確認を徹底し、作図ミスを減らす。
- ② 切断ミス及び曲げ加工の精度を向上し、機械加工ミスを減らす。
- ③ 穴あけ加工ミスや溶接加工ミスを減らす。

(3) コピー用紙の使用量削減

- ① エ図課でのバラ図コピー方式を検討する。(両面コピー化)
- ② バラ図配布部数の見直しする。(ムダ配布の排除)
- ③ サイズを縮小化にて使用する。【例】B4サイズのコピー用紙 ⇒ A4サイズに変更
- ④ 別件での使用済み用紙の裏面使用を推進する。
- ⑤ Ipadの導入により、図面コピーの削減を図る。

VI. 環境負荷の実績及び目標と評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

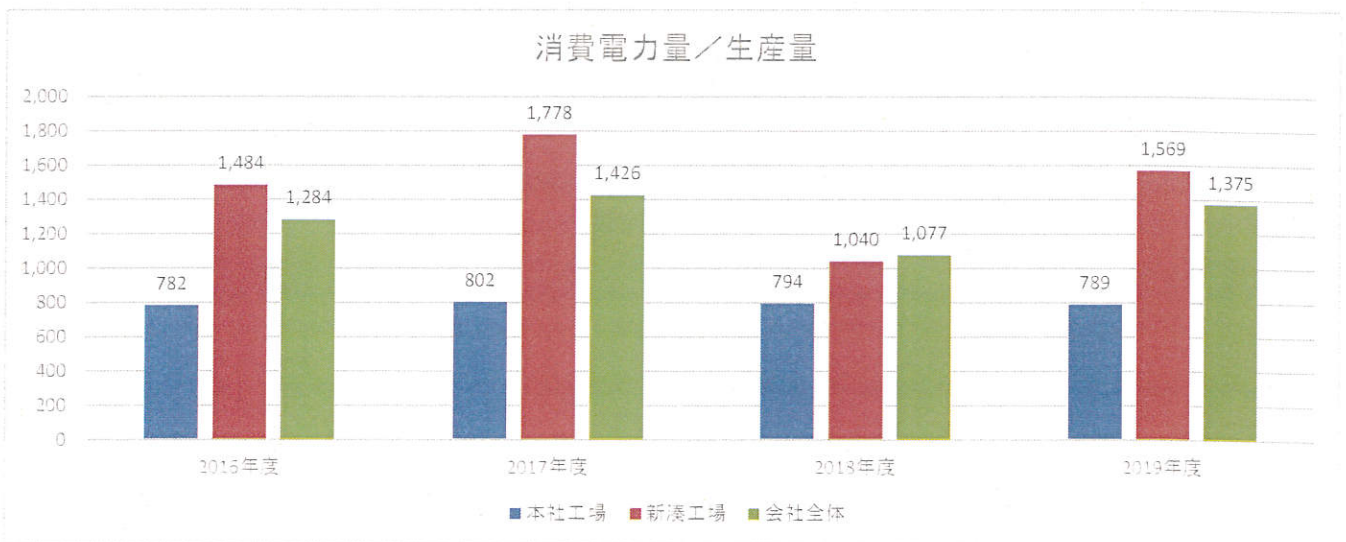
(1) 生産量に対する消費電力量の削減

- ・ 当社は生産量が増えれば消費電力量も増加するので、目標は下記のとおり消費電力量を生産量で割った数値を目標としています。

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
本社工場(電力量/生産量)	782	802	794	789	786	△ 2	99.69%
消費電力量(kWh)	264,972	275,946	271,272	255,679	270,463	14,784	105.78%
生産量(t)	339.00	344.06	341.81	324.20	344.01	△ 19.81	94.24%
新湊工場(電力量/生産量)	1,484	1,778	1,040	1,569	1,742	173	111.03%
消費電力量(kWh)	523,806	569,046	575,609	531,403	557,440	26,037	104.90%
生産量(t)	352.90	320.05	553.63	338.70	320.00	18.70	105.84%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	76,716	83,760	100,621	105,367	82,625	△ 22,742	78.42%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	12,288	9,410	8,744	11,934	9,065	△ 2,869	75.96%
北電の排出量(Kg-CO ²)	503,847	538,505	548,885	519,116	529,436	10,320	101.99%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	10,838	9,189	7,722	6,802	8,905	2,103	130.92%
中電の排出量(Kg-CO ²)	5,116	4,337	3,645	3,211	4,294	1,083	133.75%
会社全体(電力量/生産量)	1,284	1,426	1,077	1,375	1,398	24	101.73%
消費電力量(kWh)	888,620	947,351	963,968	911,185	928,498	17,313	101.90%
生産量(t)	691.90	664.11	895.44	662.90	664.01	△ 1.11	99.83%
会社全体の排出量(Kg-CO ²)	508,963	542,842	552,530	522,326	538,341	16,015	103.07%

(注) 二酸化炭素の排出係数は、北陸電力の調整後排出係数(平成 30年度実績 0.574-CO²/kWh) で算出しました。

なお、名古屋営業所は中部電力の排出係数(平成 30年度 0.472-CO²/kWh) で算出しました。



・ 2019年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、911,185kWhとなり目標比 17,313kWh減少し、生産量は662.90tで目標比 1.11t減少した結果、目標値(消費電力量÷生産量)では、1,375となり目標達成率は 101.73% となりました。

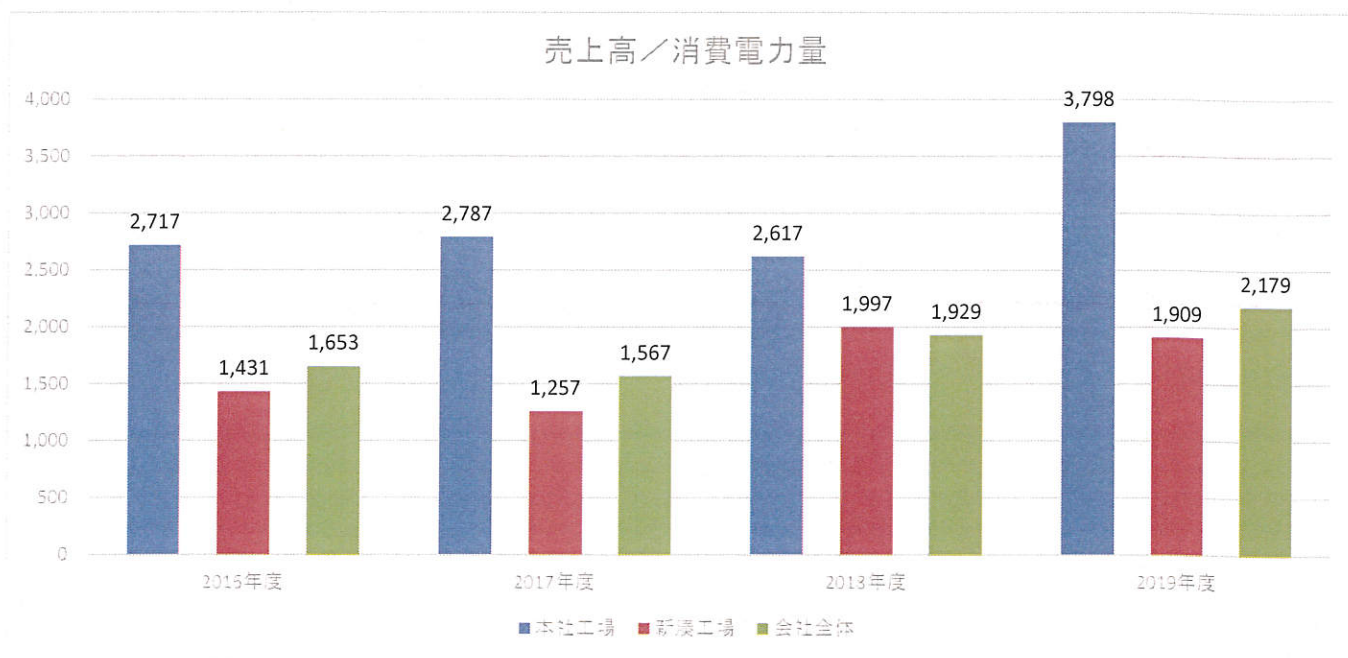
評価としては、消費電力量は少なく、生産量が 5.44t増加した為、目標を達成することができました。

(2) 売上高に対する消費電力量の削減

- ・ 当社は売上高の増加が利益の増強につながるが生産量と同様に電力量も増加するので、目標は下記のとおり売上高を消費電力量で割った数値を目標としています。

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
本社工場 (売上高/電力量)	2,717	2,787	2,617	3,798	2,844	954	133.53%
消費電力量(kWh)	264,972	275,946	271,272	255,679	270,455	14,776	105.78%
売上高(千円)	719,831	769,170	709,787	970,993	769,170	201,823	126.24%
新湊工場 (売上高/電力量)	1,431	1,257	1,997	1,909	1,283	626	148.80%
消費電力量(kWh)	523,806	569,046	575,609	531,403	557,722	26,319	104.95%
売上高(千円)	749,347	715,494	1,149,643	1,014,422	715,494	298,928	141.78%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	76,716	83,760	100,621	105,367	82,087	△ 23,280	77.91%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	12,288	9,410	8,744	11,934	9,230	△ 2,704	77.34%
北電の排出量(Kg-CO ²)	503,847	538,505	548,885	519,116	529,244	10,128	101.95%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	10,838	9,189	7,722	6,802	9,005	2,203	132.39%
中電の排出量(Kg-CO ²)	5,116	4,337	3,645	3,211	4,294	1,083	133.75%
会社全体 (売上高/電力量)	1,653	1,567	1,929	2,179	1,599	580	136.27%
消費電力量(kWh)	888,620	947,351	963,968	911,185	928,499	17,314	101.90%
売上高(千円)	1,469,178	1,484,664	1,859,430	1,985,415	1,484,664	500,751	133.73%
会社全体の排出量(Kg-CO ²)	508,962	542,842	552,530	522,326	538,341	16,015	103.07%

(注) 二酸化炭素の排出係数は、北陸電力の調整後排出係数(平成 30年度実績 0.574-CO²/kWh) で算出しました。なお、名古屋営業所は中部電力の排出係数(平成 30年度 0.472-CO²/kWh) で算出しました。



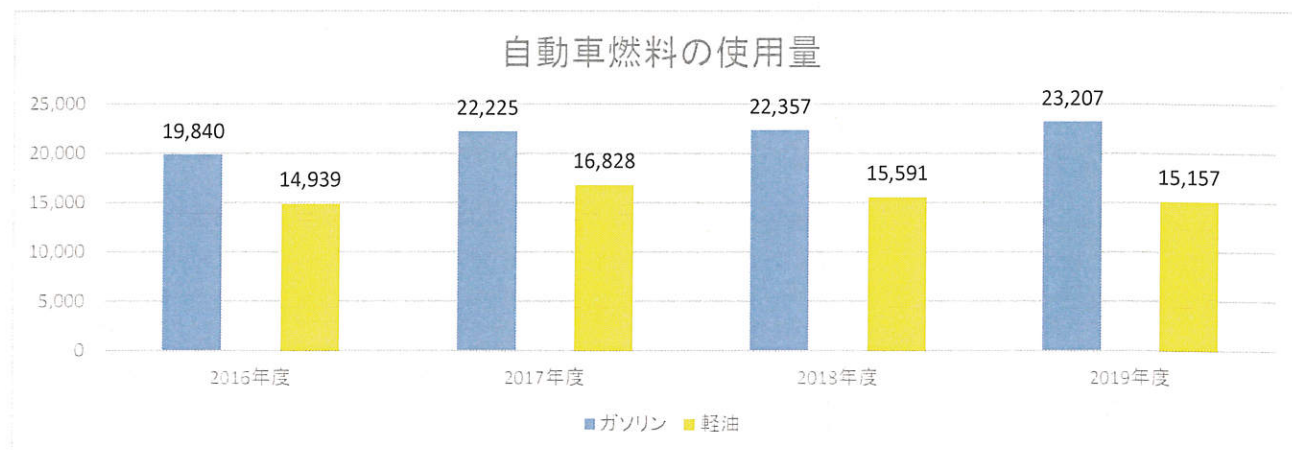
・ 2019年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、911,185kWhとなり目標比 17,314kWh減少しましたが、売上高は 500,751千円増加した結果、目標値(売上高÷消費電力量)では、2,179となり目標達成率は 136.27% となりました。

評価としては、消費電力量が増えましたが売上高が目標比485,904千円と大幅に増加したことで目標を達成することができました。

(3) 自動車燃料の削減

項目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
ガソリン	19,840	22,225	22,357	23,207	21,783	△ 1,424	93.86%
排出量(Kg-CO ²)	46,062	51,599	51,868	53,887	50,580	△ 3,307	93.86%
軽油	14,939	16,828	15,591	15,157	16,493	1,336	108.81%
排出量(Kg-CO ²)	39,205	44,162	40,224	39,696	43,195	3,499	108.81%
会社全体	34,779	39,053	37,948	38,364	38,276	△ 88	99.77%
排出量(Kg-CO ²)	85,267	95,761	92,092	93,583	93,775	192	100.21%

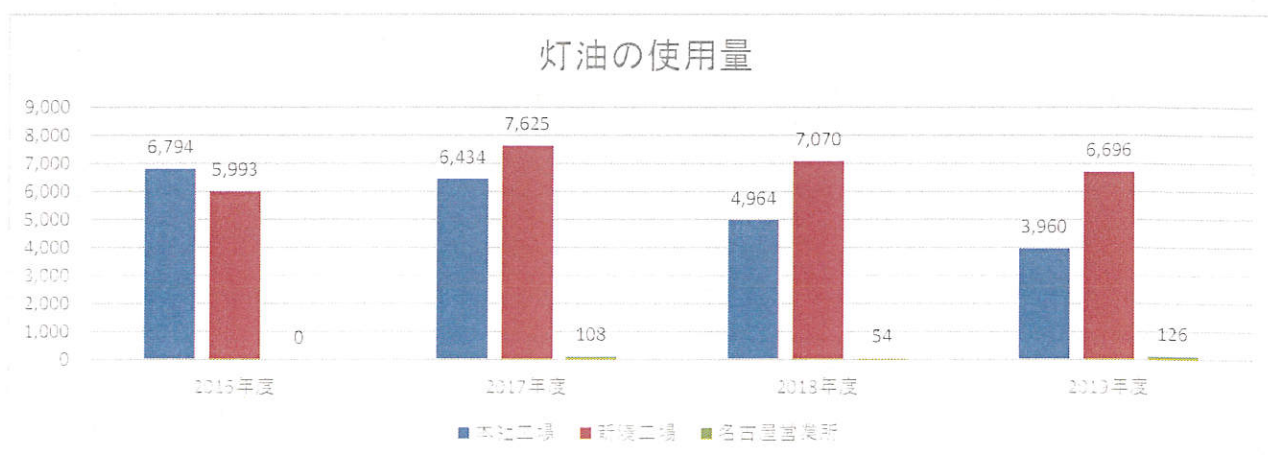


・ 2019年度の結果と評価

ガソリンの使用量は、目標比 1,424Lオーバーしましたが、軽油の使用量は 1,336L削減できました。
自動車燃料の削減目標は、会社全体で 99.77%となり目標未達となりました。

(4) 灯油使用量の削減

項目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
本社工場	6,794	6,434	4,964	3,960	6,306	2,346	159.24%
新湊工場	5,993	7,625	7,070	6,696	7,474	778	111.62%
名古屋営業所	0	108	54	126	106	△ 20	84.13%
会社全体	12,787	14,167	12,088	10,782	13,886	3,104	128.79%
排出量(Kg-CO ²)	31,864	35,305	30,099	26,836	34,562	7,726	128.79%

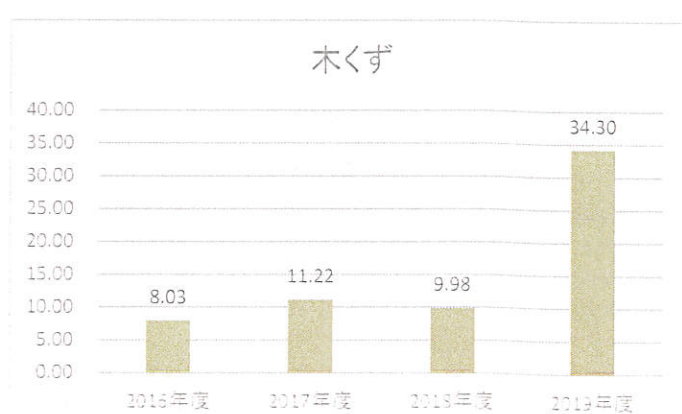
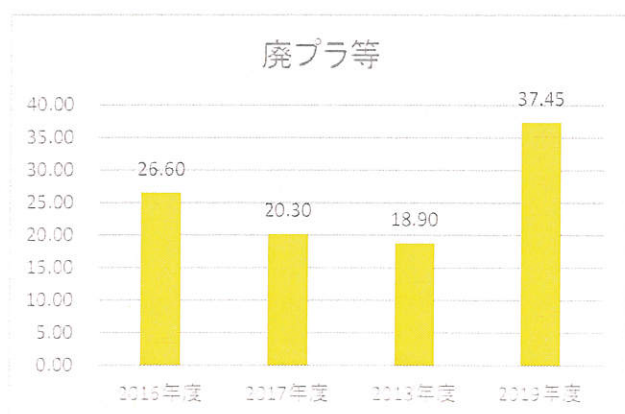
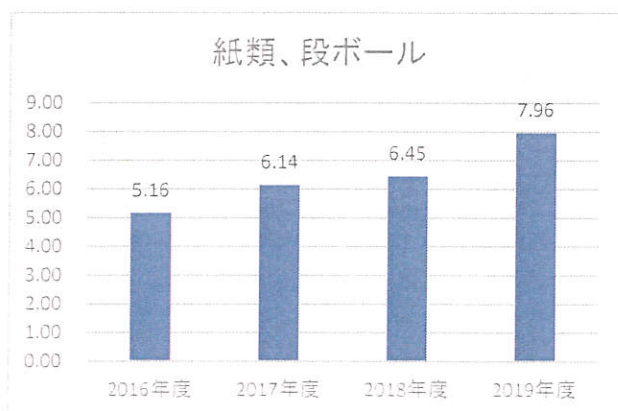


・ 2019年度の結果と評価

灯油の使用量は、本社工場、新湊工場、ともに使用量は減少いたしましたが名古屋営業所は目標未達となりました。今年度は暖冬の影響もあったと思いますが、会社全体では 10,782Lの使用量となり目標を達成することができました。※ LPGに関しては、実習生寮の使用分であり生活費の為、除外致します。

2. 廃棄物の総量の削減

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
紙類、段ボール (t)	5.16	6.14	6.45	7.96	6.02	△ 1.94	75.63%
本社工場	1.88	1.88	1.99	1.40	1.84	0.44	131.43%
新湊工場	3.28	4.26	4.46	6.56	4.18	△ 2.38	63.72%
金属端材 (t)	128.22	118.55	113.07	147.15	116.19	△ 30.96	78.96%
本社工場	69.67	29.95	48.81	74.63	29.35	△ 45.28	39.33%
新湊工場	58.55	88.60	64.26	72.52	86.83	14.31	119.73%
廃プラ等 (t)	26.60	20.30	18.90	37.45	19.88	△ 17.57	53.08%
本社工場	11.20	5.60	5.60	13.65	5.48	△ 8.17	40.15%
新湊工場	10.32	11.90	10.80	21.00	11.66	△ 9.34	55.52%
新湊北工場	4.38	2.80	2.50	2.80	2.74	△ 0.06	97.86%
婦中倉庫	0.70						
木くず (t)	8.03	11.22	9.98	34.30	11.00	△ 23.30	32.07%
本社工場	2.84	5.76	8.07	10.90	5.64	△ 5.26	51.74%
新湊工場	5.19	5.46	1.91	23.40	5.36	△ 18.04	22.91%
廃棄物量	168.01	156.21	148.40	226.86	153.09	△ 73.77	67.48%

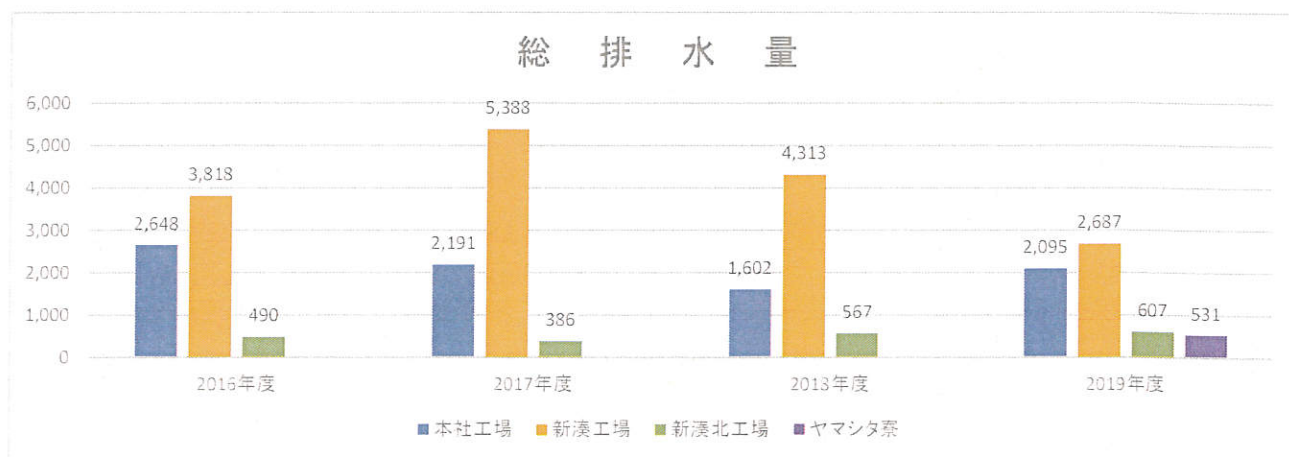


・ 2019年度の結果と評価

全項目に於いて廃棄量が増加傾向にある。生産量増加に伴い廃棄物も増加し、特にホームドアと産業用機械装置受注増加に伴い、送られてくる部品等の梱包材(木枠等)が増えており、再利用をもっと推進する必要があると考えます。

3. 総排水量の削減

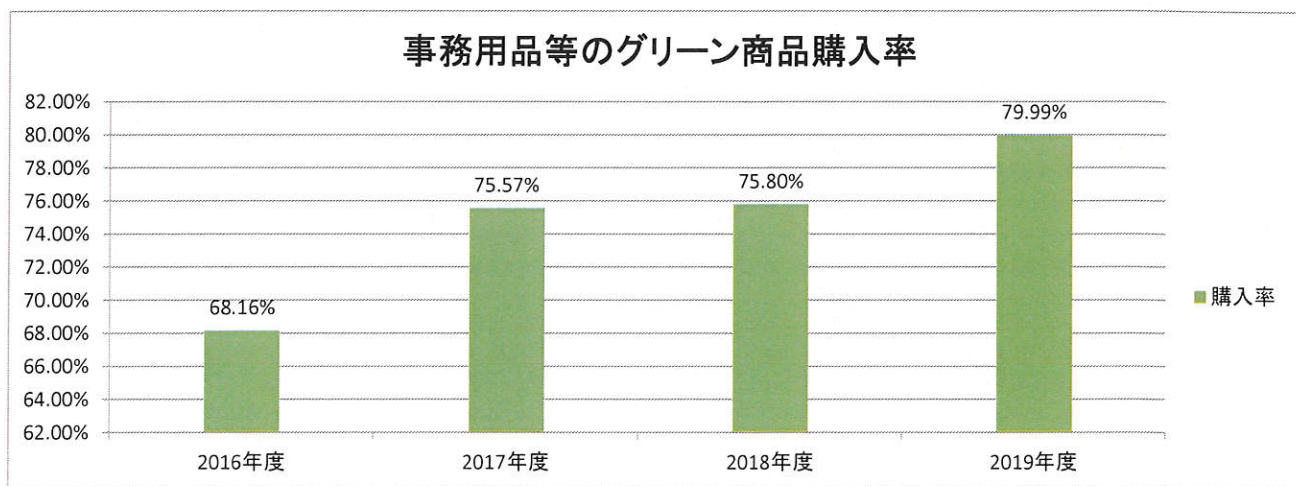
項 目	単位	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
本社工場	m³	2,648	2,191	1,602	2,095	2,147	△ 52	102.47%
新湊工場	m³	3,818	5,388	4,313	2,687	5,281	△ 2,594	196.54%
新湊北工場	m³	490	386	567	607	378	229	62.27%
ヤマシタ寮	m³			382	531	500	31	94.16%
総排水量		6,956	7,965	6,482	5,920	8,306	△ 2,386	140.30%



- ・ 2019年度の結果と評価
会社全体で目標比2,286減少し達成することができました。

4. グリーン商品の購入率アップ

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
グリーン商品の購入率	68.16%	75.57%	75.80%	79.99%	70.22%	9.77%	113.92%
事務用品等購入額	1,196,505	560,603	780,522	697,291	554,997	142,294	
内グリーン商品の購入額	815,594	423,660	591,630	557,781	389,719	168,062	



- ・ 2019年度の結果と評価
グリーン商品を優先して購入しており、目標は達成することができました。

5. 化学物質（PRTR法対象物質）使用量の削減

(1) 本社工場

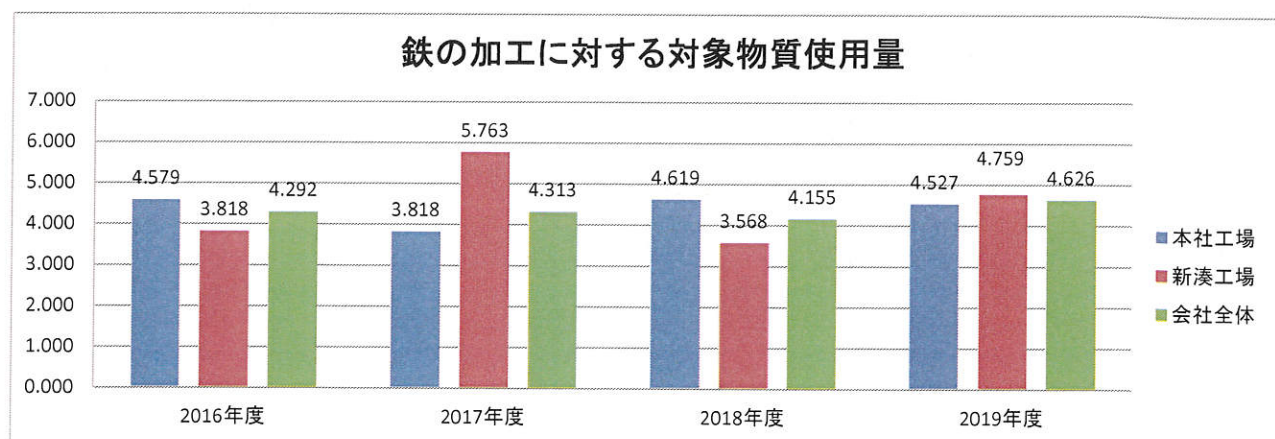
項 目	単位	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	4.579	3.818	4.619	4.527	4.401	△ 0.126	97.21%
鉄の加工重量	t	200.48	195.28	186.26	168.17	193.33	△ 25.16	114.96%
PRTR法対象物質	Kg	918	746	860	761	851	89	111.75%
トルエン	Kg	522	400	657	312	389	77	124.78%
キシレン	Kg	132	204	131	195	195	0	100.06%
エチルベンゼン	Kg	132	142	72	136	142	5	103.84%
その他	Kg	132	0	0	118	125	7	105.77%

(2) 新湊工場

項 目	単位	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	3.818	5.763	3.568	4.759	5.653	0.894	118.78%
鉄の加工重量	t	121.27	66.72	146.88	125.10	66.74	△ 58.36	53.35%
PRTR法対象物質	Kg	463	384	524	595	377	△ 218	63.37%
トルエン	Kg	220	222	318	468	218	△ 250	46.52%
キシレン	Kg	33	20	36	63	20	△ 43	31.63%
エチルベンゼン	Kg	33	14	26	47	14	△ 33	29.67%
その他	Kg	177	128	144	18	126	108	714.38%

(4) 会社全体

項 目	単位	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	4.292	4.313	4.155	4.626	4.721	0.095	102.04%
鉄の加工重量	t	321.75	262.00	333.14	293.27	259.28	△ 33.99	88.41%
PRTR法対象物質	Kg	1,381	1,130	1,384	1,357	1,224	△ 133	90.22%
トルエン	Kg	742	622	976	780	596	△ 184	76.39%
キシレン	Kg	165	224	166	257	220	△ 37	85.45%
エチルベンゼン	Kg	165	156	98	183	154	△ 29	84.00%
その他	Kg	309	128	144	136	254	118	187.07%



(注) 化学物質使用量の削減目標は、PRTR法の対象物質に対する鉄の加工重量としていますが、単位が小さくて表が見にくいので、鉄の加工を1tするのにトルエン等の化学物質を何Kg使用したかを表示しています。

$$\bigcirc \text{ 化学物質の削減目標} = \frac{\text{PRTR法対象物質の使用量}}{\text{鉄の加工重量}}$$

・ 2019年度の結果と評価

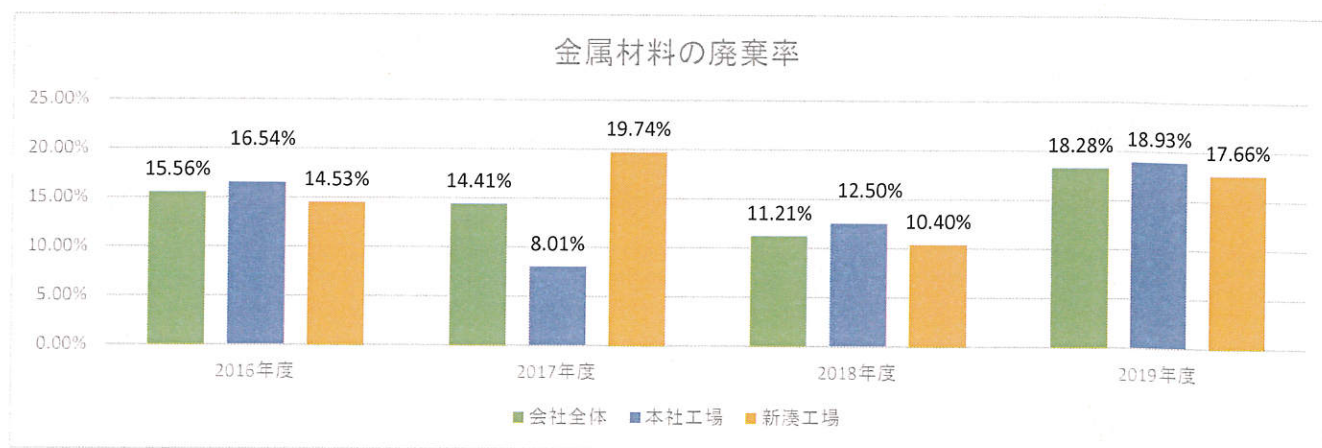
化学物質（PRTR法対象物質）使用量は133Kg増え、鉄の加工重量が33.99t増加しました。

化学物質の使用は錆止め塗装に使用しており、目標値は化学物質使用量÷鉄の加工重量としているので、会社全体の目標達成率は102.04%となりました。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

(1) 金属材料の廃棄率の改善

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
金属材料の廃棄率	15.56%	14.41%	11.21%	18.28%	15.09%	-3.19%	82.54%
主要材料使用量(t)	824.25	822.92	1,008.51	804.83	816.01	11.18	101.39%
金属クズ(t)	128.22	118.55	113.07	147.15	123.15	△ 24.00	83.69%
本社工場の金属材料廃棄率	16.54%	8.01%	12.50%	18.93%	16.04%	-2.89%	84.73%
主要材料使用量(t)	421.33	374.01	390.62	394.22	417.12	22.90	105.81%
金属クズ(t)	69.67	29.95	48.81	74.63	66.91	△ 7.72	89.66%
新湊工場の金属材料廃棄率	14.53%	19.74%	10.40%	17.66%	14.10%	-3.56%	79.83%
主要材料使用量(t)	402.92	448.91	617.89	410.61	398.89	△ 11.72	97.15%
金属クズ(t)	58.55	88.60	64.26	72.52	56.24	△ 16.28	77.55%

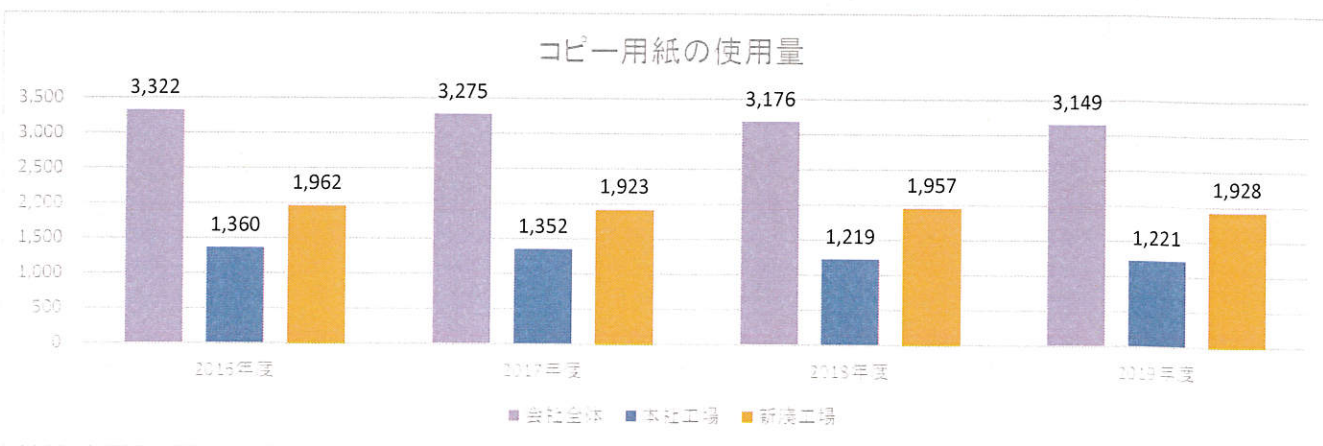


・ 2019年度の結果と評価

会社全体の主要材料の使用量は目標比 11.18t減少し、金属クズが 24.00t増加した結果、目標達成率は 82.54%で未達となりました。

(2) コピー用紙の使用量の削減

項 目	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2019年度目標	目標差	達成率
コピー用紙の使用量(Kg)	3,322	3,275	3,176	3,149	3,210	61	101.94%
本社工場	1,360	1,352	1,219	1,221	1,325	104	108.52%
新湊工場	1,962	1,923	1,957	1,928	1,885	△ 43	97.77%

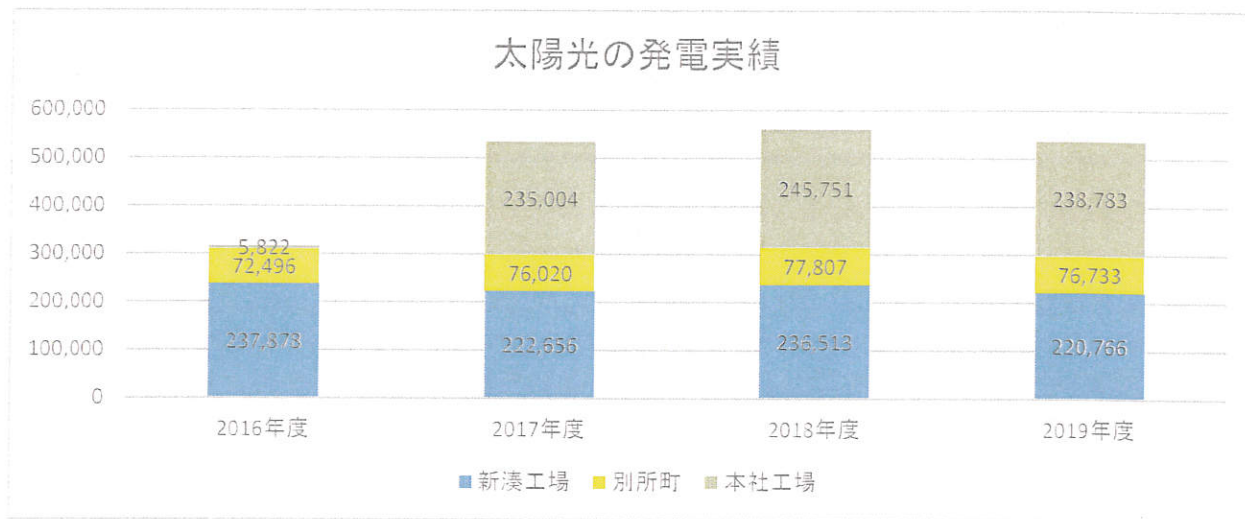


・ 2019年度の結果と評価

コピー用紙の使用量は、会社全体で 3,149Kgとなり、目標値の 3,210Kgより 61Kg少なくすることができました。

(3) 太陽光発電への取組み

項 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
太陽光発電 (kWh)	316,196	533,680	560,071	536,282
新湊工場発電 (kWh)	237,878	222,656	236,513	220,766
別所町発電 (kWh)	72,496	76,020	77,807	76,733
本社工場発電 (kWh)	5,822	235,004	245,751	238,783
会社全体の排出量(Kg-CO ²)	181,496	306,332	321,480	307,825



- 太陽光発電の取組みは、クリーンなエネルギーであり地球温暖化への貢献ができると考えています。しかし、太陽光発電は天候に左右されるので目標値は設定していませんが、2019年度では 536,282 kWhの発電をすることができました。

Ⅶ. 環境経営目標の実績と評価

1. 取組状況

全体取組項目	取組内容	実績と評価			
(1) 環境方針	当社の方針に沿って策定	本社工場	新湊工場	北工場他	会社全体
(2) 環境目標とその実績	1. 二酸化炭素排出量の削減	目標達成率			
	1t当りの消費電力量(電力量/生産量)	99.69%	111.03%		101.73%
	1t当りの消費電力量(売上高/電力量)	133.53%	148.80%		136.27%
	自動車燃料	ガソリン消費量の削減		93.86%	99.77%
		軽油消費量の削減		108.81%	
	灯油	灯油使用量の削減		84.13%	128.79%
	2. 廃棄物量の削減	目標達成率			67.48%
	紙類、段ボールの廃棄量の削減	131.43%	63.72%		75.63%
	金属材料の廃棄物の削減	39.33%	119.73%		78.96%
	廃棄プラスチック廃棄量の削減	40.15%	55.52%	97.86%	53.08%
	木くず廃棄量の削減	51.74%	22.91%		32.07%
	3. 総排水量の削減	102.47%	196.54%	62.27%	140.30%
	4. グリーン商品の購入			113.92%	113.92%
	5. 化学物質排出率の削減	97.21%	118.78%		102.04%
	6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組				
	金属材料の廃棄率の改善	84.73%	79.83%		82.54%
	コピー用紙の使用量の削減	108.52%	97.77%		101.94%
(3) 環境活動計画の内容	節電活動(休憩時の消灯等)	△	△	○	△
	冷暖房の室温管理(温度設定)	○	○	○	○
	設備機器の検討(省エネ設備機器等)	—	○	—	○
	工程管理による残業時間の削減	○	○	○	○
	自動車燃料の削減(エコドライブの推進)	△	△	△	△
	灯油使用量の削減(灯油ストーブの管理)	○	○	○	○
	紙類、段ボールの有効利用	○	△	—	△
	端材(残材)の有効利用	△	△	—	△
	廃棄プラスチックの削減	×	×	△	×
	木くず廃棄量の削減	×	×	—	×
	節水活動の推進	○	○	×	○
	融雪放水の管理	○	—	—	○
	化学物質の保管・管理を指導	△	○	—	○
	グリーン商品の購入	○	○	○	○
	金属材料の廃棄率の改善	△	○	—	○
	コピー用紙の使用量削減	○	△	○	○

2019年度

環境目標及び活動計画書

方針	目 標	環 境 活 動 等	項 目	2019年度 スケジュールと結果												達成状況/問題点/是正 (実施責任者)	定期的な確認・評価・是正 評価/指示 (管理責任者・代表者)	
				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
電力の削減 【基準】2017年度 2017年度消費電力 947.351kWh 2017年度生産量 664.11t 【目標】生産量に対する消費電力 1.426 2017年度削減率 1.398kWh 【中期目標】(消費電力/生産量) 2018年度目標 1.384 2019年度目標 1.370 【目標】売上高に対する消費電力 1.591円 【中期目標】(売上高/消費電力) 2018年度目標 1.599 2019年度目標 1.616 排出 1.632	電力の削減 【基準】2017年度 2017年度消費電力 947.351kWh 2017年度生産量 664.11t 【目標】生産量に対する消費電力 1.426 2017年度削減率 1.398kWh 【中期目標】(消費電力/生産量) 2018年度目標 1.384 2019年度目標 1.370 【目標】売上高に対する消費電力 1.591円 【中期目標】(売上高/消費電力) 2018年度目標 1.599 2019年度目標 1.616 排出 1.632	電力削減対策説明 ・休電中の節電 ・エアコンの設定温度管理 ・照明のエネルギー活用 ・機器のエネルギー活用 ・効率的な機器の検討 ・不稼働機器の電源管理 ・保守点検の適正化 ・残業時間の削減	消費電力 kWh	63,450	65,505	79,918	82,969	79,987	77,296	80,232	79,999	83,312	85,912	85,388	84,433	947,351	生産量は伸び悩んでいるが、電力の使用量が減少している。	また、今期は創業60周年の節目でもあり、売上高は計画以上に推移し、毎月目標を全て達成できて経営面から見て、必ずしも売上高に成果があつた。
			生産量 万 t	51,530	58,575	69,081	50,562	53,480	59,677	57,432	61,746	69,813	68,188	49,313	48,664	664,112		
			消費電力 kWh	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398		
			売上高 (千円)	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131	12,131		
			消費電力 kWh	72,573	65,796	73,085	77,208	74,501	74,373	79,431	79,995	80,323	77,615	78,020	77,265	911,185		
			生産量 万 t	33,165	35,919	52,607	61,891	54,280	75,225	56,120	43,467	39,369	71,421	58,049	41,368	662,902		
			売上高 (千円)	2,059	2,573	2,469	2,143	3,694	1,554	1,997	2,071	1,901	2,557	1,861	1,318	2,179		
			消費電力 kWh	72,573	65,796	73,085	77,208	74,501	74,373	79,431	79,995	80,323	77,615	78,020	77,265	911,185		
			売上高 (千円)	149,447	169,287	180,445	165,495	272,985	115,609	158,596	165,495	152,718	198,493	154,968	101,719	1,985,415		
			消費電力 kWh	72,573	65,796	73,085	77,208	74,501	74,373	79,431	79,995	80,323	77,615	78,020	77,265	911,185		
紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類削減対策説明 ・ON/OFFをこまめに行う ・ステータスの適正使用	紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	暖冬の影響もあったと思われ、今後この調子で削減してほしい。	紙類の使用量は年々減少しており、今後この調子で削減してほしい。
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類削減対策説明 ・ON/OFFをこまめに行う ・ステータスの適正使用	紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	過去の削減率を参考に、今年度も削減率を達成してほしい。	紙類の使用量は年々減少しており、今後この調子で削減してほしい。
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類削減対策説明 ・ON/OFFをこまめに行う ・ステータスの適正使用	紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	過去の削減率を参考に、今年度も削減率を達成してほしい。	紙類の使用量は年々減少しており、今後この調子で削減してほしい。
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類の削減 【基準】2017年度 2017年度消費量 13,855L 2017年度削減率 13.855% 【中期目標】(紙類) 毎年1%削減 2018年度目標 13.855% 2020年度目標 13.745%	紙類削減対策説明 ・ON/OFFをこまめに行う ・ステータスの適正使用	紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	過去の削減率を参考に、今年度も削減率を達成してほしい。	紙類の使用量は年々減少しており、今後この調子で削減してほしい。
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855		
			紙類消費量 L	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13,855	13		

※ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組は、金属材料の廃棄率の改善及びコピー用紙の使用量の削減を行っています。

VIII. 代表者による全体評価

	報 告	コメント・提案 (環境管理責任者)	評価・指示事項 (代 表 者)
二酸化炭素排出量の削減	消費電力量の減少により ① 二酸化炭素の排出量目標が達成できた。	二酸化炭素の排出量は、16,015 Kg-CO ² 減少したが、生産量、売上高共に増えた結果、目標値は達成している。	二酸化炭素の排出量はオーバーしたが、当社は4年前から太陽光発電を行い、307,825Kg-CO ² 削減しています。
廃棄物の削減	② 廃棄量が全項目目標値を超えた。	原因は、ホームドアと産業用機械装置の受注増加に伴い、送られてくる部品等の梱包材が増えたからであるが、今後の対策が必要だと考える。	② 廃棄量は各項目に於いて年々増加しており、再利用を促進のこと。

IX. 環境関連法規等の取組み

1. 当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境法規は次の通りです。

適用される法規制等	適用される事項	評価
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック類、木くず)	適合
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	適合
小型家電リサイクル	パソコン、携帯電話、デジカメ	適合
水銀廃棄物ガイドライン	廃蛍光灯、HIDランプ	適合
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、3か月に1回以上簡易点検	適合
騒音規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
振動規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
浄化槽法	浄化槽の管理	適合
消防法	定期点検の実施、少量危険物保管の管理	適合
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベ使用	適合
労働安全衛生法	作業環境の整備、一般健康診断、特殊健康診断	適合
自動車リサイクル法	自動車の管理、リサイクル料の納付	適合
PRTR法	化学物質の管理	適合

2. 環境関連法規への違反、訴訟等はありません。

また、関係機関や地域住民から苦情や指摘事項はありません。

3. 工場周辺の清掃活動



次回の「環境活動レポート」は、2021年7月に発行を予定しています。